

HOPE

ほおふ

Topics

ホームページをリニューアルしました

弊社ホームページですが、この度リニューアルしました。



ホームページのアドレスですが、<https://www.komyokk.co.jp/>です。

今後とも皆様のお役に立てる情報をご提供してまいります。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※検知管 温度補正システムは、これまで同様ホームページトップページよりご利用いただけます。

<https://www.komyokk.co.jp/temperature/view/top/temperature.html>

旧ホームページで掲載していた技術情報等も、リニューアルしたホームページにて継続して掲載しております。

<https://www.komyokk.co.jp/faq/index.html>

製品情報

・携帯型ニオイ測定装置 イーノーズ (mobileⅢ / integralⅢ)

“ニオイ”の強さを数値化できます。臭気対策にぜひご活用ください。

イーノーズ®
モバイル
mobileⅢ

2つのセンサーで
ニオイを監視

重質系、軽質系の
測定に

イーノーズ®
インテグラル
integralⅢ

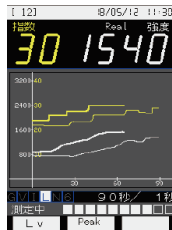
4つのセンサーで
ニオイを分析

重質系、軽質系、アンモニア系、硫黄系の
測定に

※温湿度センサー装備



表示例



記録したデータと
比較しながら
測定可能



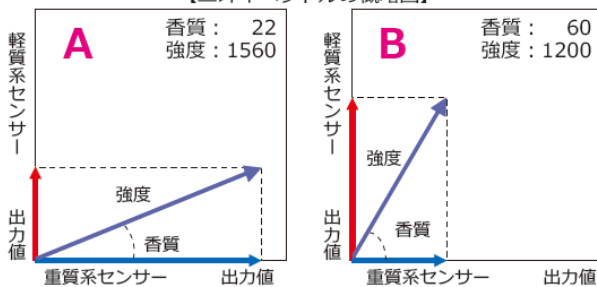
表示例



4センサー
同時測定

オンリーワンの特許技術が ニオイ情報を解析

【ニオイベクトルの概略図】



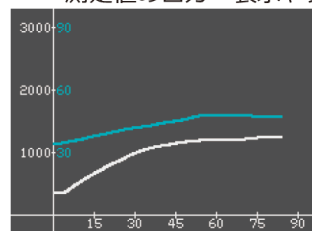
センサーの出力値からニオイをベクトルで表現

[香質] はベクトルの角度で表され、
角度の大小によってニオイの傾向を診断します。
[強度] はベクトルの長さで表され、
長さに応じてニオイの強さを判断します。

A のニオイは **B** に比べて芳香族などの重質系成分が多く、
強いニオイの可能性があります。

B のニオイは **A** よりもアルコールなどの軽質系成分が
多い可能性があります。

測定値のロガー表示やデータ一覧表示も標準搭載



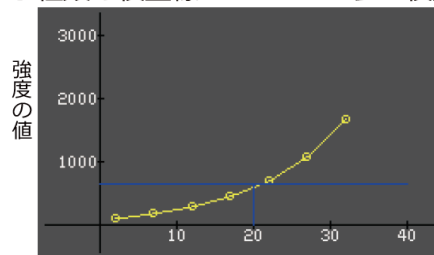
ロガー表示

No.	Date	Time	F	S
Now	07/25	14:49	59	762
005	07/25	14:47	41	517
004	07/25	14:47	24	840
003	07/25	14:45	41	517
002	07/25	14:43	68	1044
001	07/25	14:30	48	1296

データ一覧表示

検量線による臭気指数表示が可能

3種類の検量線(標準)+ユーザー検量線(integralⅢのみ)



臭気指数

技術情報

●スモークジェネレーター SG-1

- ・プロピレングリコール、グリセリンを加熱することで発生する煙を発生させます。
- ・発煙の量は本体ダイヤル操作で調整できます。
- ・発生する煙には腐食性・有害性はありません。
- ・発煙のための薬液供給は、カートリッジ方式です。
- ・本製品の薬液は、米国薬局方 (USP) にて食品グレードとされているものを使用しています。
※食品ではありませんので、白煙を吸引したり、発煙カートリッジを口の中に入れてください



局所排気装置の点検、環境測定、産業衛生分野での気流確認にご活用ください



感染症対策の陰圧室の空気流状況の確認にもご活用ください

煙管（発煙管）の煙には塩化水素が含まれています。局所排気装置以外の気流検査には SG-1 をご使用ください。

A220-2 二類感染症患者療養環境特別加算(1日につき)

1 個室加算 300点 2 陰圧室加算 200点

保険医療機関に入院している感染症法第6条第3項に規定する二類感染症に感染している患者及び同条第7項に規定する新型インフルエンザ等感染症の患者並びにそれらの疑似症患者（第1節の入院基本料（特別入院基本料等を含む。）又は第3節の特定入院料のうち、二類感染症患者療養環境特別加算を算定できるものを現に算定している患者に限る）について、必要を認めて個室又は陰圧室に入院させた場合に、個室加算又は陰圧室加算として、それぞれ所定点数に加算する。

通知(保医発 0305 第1号 平成30年3月5日)

- (1) 加算の対象となる者は、感染症法第6条第3項に規定する二類感染症の疾病を有する患者、新型インフルエンザの患者及びそれらの疑似症患者であって、保険医が他者へ感染させるおそれがあると認め、状態に応じて、個室又は陰圧室に入院した者である。
- (2) 個室かつ陰圧室である場合には、個室加算及び陰圧室加算を併算定できる。
- (3) 陰圧室加算を算定する場合は、結核患者等を収容している日については、病室及び特定区域の陰圧状態を煙管（ペーパーパウダー等を用いて空気流の状況を確認する方法で代用可能）又は差圧計等によって点検し、記録をつけること。ただし、差圧計はその位置によって計測値が変わることに注意すること。差圧計によって陰圧の確認を行う場合、差圧計の動作確認及び点検を定期的実施すること。

『臭気判定士と、におい測定』

『臭気判定士』とは、嗅覚測定法を行うための資格で、パネル(実際に、試料空気をかいでにおいの有無を判定する人)の選定、試料の採取、試験の実施、結果算出までを行うための国家資格です。臭気測定業務従事者とも呼ばれます。

臭気判定士の資格をもっていると、よく『鼻が利くのですね』『においのかぎわけが上手なのです』と“勘違い”されることがあるようです。臭気判定士になろうとする人が、特定のにおいが分からない“嗅盲”の場合には、資格を得ることができません。試験合格時やその後5年に一度「嗅覚パネル試験」で、5種類の基準臭を感じるができるかについての試験に合格する必要があります。しかしながら、この試験は嗅覚のすぐれた人を選ぶものではなく、「嗅覚が正常であるかどうか」を確認するための試験です。臭気判定士やパネルになるためには「においが分かればよい」のであって、鋭敏な嗅覚をもっている必要はありません。

実際の臭気判定試験では、6名のパネルに採取したガスバッグ中の試料気体のにおいをかいでもらいます。試料を段階希釈し「においがしなくなるまでの希釈倍率」をにおいの“濃度”として判定します。「においを感じたか、感じなかったか」が判断基準であり「どのようなにおいか、かぎわける」能力は要求されません。また、この6名のパネルの結果のうち「最も高い結果(においに敏感)を出した人」と「最も低い結果(においに鈍感)を出した人」のデータは使用しないことになっています。まるでオリンピックでの採点のようですね。これはあくまで「悪臭公害は感覚公害」であり「多くの方が感じる悪臭(つまり平均が重要)」の判定を行う方法としては、非常に理にかなった方法といえます。つまりは「においに鋭敏な人のデータは常に使われない」ことになるのです。これからも、“臭気判定士 = においに鋭敏”というわけではないことがお分かりいただけるかと思います。

においの測定に関するお客様からのお問合せは、比較的多い部類になると思います。公定法としての臭気判定の方法を説明すると、多くのお客様から、

『人がにおいをかいで測定する方法に再現性などみられるはずがない』『嗅覚疲労(においをずっとかいていっていると、わからなくなる現象)により、においを感じなくなっていくので、そのような方法は不可能だ』という反応を頂くことがあります。しかしながら、実際の臭気判定業務には細かな手順が定められており、それを順守すれば、そういった問題は回避でき、精度管理が可能な「においの測定を行う」という目的を十分に達成できる方法であることが知られています。

このような臭気判定は、経験を持った有資格者と6名のパネラーが必要とされ、簡単に実施できる作業ではありません。プロにお願いする必要がありますが、一方で「誰でも簡単に、においを測定したい」というニーズも強く存在します。弊社では、本号でも紹介したような「ニオイ測定装置」も取り扱っています。通常ガスセンサーは「特定のガスに対して、一種類のセンサー」で出力を得ます。においの正体は“ガス・蒸気”ですが、その成分は多種多様で、1種類のセンサーで、においの傾向を追うことは非常に困難です。このため、弊社の装置には2種類もしくは4種類(軽質系、重質系、アンモニア系、硫黄系)のにおいに対するセンサーを搭載しています。これらの複数のセンサーのパターニングから、高度なレベルで、においの情報解析を行うことが可能です。また臭気測定はあくまでスポット分析(パッチワイズ)ですがニオイ測定装置では、連続的なモニタリングも可能です。

臭気判定とニオイ測定装置は、同じものではありませんが、それぞれに一長一短があります。工場などから排出されるにおいを連続的に、コストを抑えて測定する場合にはニオイ測定装置は最適ではないと思います。におい測定をお考えの場合には、ご活用いただけましたら幸いです。(K.K.)



弊社ニオイ測定装置で飲料の臭気測定を行っている様子

光明理化学工業 株式会社

ホームページ <https://www.komyokk.co.jp>

〒213-0006 川崎市高津区下野毛1丁目8番28号

【TEL】044-833-8900(代) 【FAX】044-833-2671

発行日：2021年6月11日 編集 営業支援室

“ほおぶ”に関するお問い合わせは、上記の弊社 TEL・FAX までお願い申し上げます。